

平成24年度 埼玉県ソフトテニス連盟総会 議事録

3月11日(日) 13時30分～ クレアこうのす・大会議室

総会当日は、丁度、昨年(2011年)の東日本大震災の日(3月11日)に当たり、総会を始める前に、昨年(2011年)の東日本大震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、また被災された方々の一日も早い復興を祈念する黙祷の後、開始された。

1. 成立審査：山下理事長より委任状を含め全支部の出席により、総会成立の報告があった。
2. 会長挨拶のあと、松本会長から、
午前中の理事会に於いて、小俣三男競技委員長の辞任と木村眞敏副委員長の残任期間の代行が、承認されたこと、及び、飯野透事務局長の辞任と田中輝彦事務局の新局長委嘱、及川哲也競技委員の幹事委嘱の報告がなされた。
3. 協議事項
 - 1) 第1号議案 事業報告・決算報告について報告があり、承認された。
 - (1) 競技委員会より
東日本大震災の影響で、関東オープン大会、関東選手権大会県予選会の中止があったが、その他の大会の実施報告がなされた。(結果は記録集参照)
 - (2) 強化委員会より
山口国体出場は、フリー出場種目の成年男子のみで、3回戦で奈良県と対戦し、敗退。国体強化練習会/遠征合宿のほか、中・高合同強化練習会を実施した。
 - (3) 広報委員会より
大会結果の新聞雑誌等への投稿、県連 WEB 掲載、記録集の作成等の活動を行った。県連 WEB の管理運営を行い、660件/日、24万件/年間のアクセス数があった。
 - (4) 審判委員会より
一般の他、高体連/中体連/小学連での審判研修会が実施された。
 - (5) 技術等級委員会より
406名の大会実績に拠る申請があった。
 - (6) 普及委員会より
県インドア大会の後、くまがやドームにて第3回小学生技術研修会を実施。437名の小学生が参加。チャリティーゴルフ収益金で、景品を配布。24年度は、県体協主催の武道館祭りに合わせ、ジュニアソフトテニス教室を計画。
 - (7) 競技者育成プログラム委員会より
23年度は、スケジュール的にSTEP2は実施できず、推薦により選手を選出した。STEP3(関東ブロック)通過者はいなかったが、県内出身者が他県で活躍している。県内選手の強化が必要と感じる。
 - (8) 80周年記念誌編纂委員会より
着々とデータ収集中。県連大会は1位のみを掲載する予定。
 - (9) 総務委員会より
飯野透事務局長より23年度決算報告がなされた。(年間197万円の赤字)
 - (10) 監査報告
堀口克己監事より決算について適正に処理されていることが報告された。
 - 2) 第2号議案 埼玉県ソフトテニス連盟の長期方針について
原案通り、承認された。

3) 第3号議案 県連盟規約の変更(案)について

臨時総会で承認された会費関係を含め、以下の変更案が承認された。

- (1) 事務所所在地の変更
- (2) 団体年会費、会員登録料の変更
- (3) ランキング関係の変更
- (4) 委員会名の変更
- (5) 付則の追記

4) 第4号議案 平成24年度事業計画(案)について承認された。

大会要項の変更等、注意点(24年度事業計画参照)

- (1) 大会申し込み
 - ・従来方式の申し込み様式を新しい様式に変更(WE B掲載済み)
 - ・新しく、指定のEXCELフォーマットに記載し、メール添付して、各団体からの直接申し込み方法が追加された。(この説明会が、総会終了後に行われた)
 - ・参加費の振込み先は、県連指定の郵便局口座
- (2) 開会式の時間変更箇所が幾つかの大会であり、要注意。
 - ・クラブ対抗戦は、開会式を行う。少し時間が早くなる。
- (3) 75歳以上のエントリーが少ない場合の対戦方法は、競技委員会の判断とする。
- (4) クラブリーグの棄権扱いの変更。
 - ・始めから参加申し込みが無い場合は、失格と同じ2部降格(現状通り)。
 - ・参加申し込み済みで、当日棄権の場合は、1部降格。
- (5) ウェアに注意(詳細は、要項に記載)
 - ・日連の規則が変更になった。それにあわせ、県連も日連ルールを遵守する。ただし、襟に長さ、前部開襟等の規制に関しては、県内大会に限り、24年度は注意のみとする。
- (6) その他
 - ・関東選手権大会予選会の受付状況で、会員番号や審判有効期限等、必須記載事項に空欄や誤りが多い。各団体責任者は、団体員のデータを再確認し申し込むこと。

5) 第5号議案 平成24年度予算(案)について、原案通り承認された。

- ・県連財政健全化のご協力により、会費、大会収益の全収入に占める割合が、それぞれ、1/3程度にバランスし、妥当な値になった。
- ・経費全体が見える様に、別会計の費用も本会計に集計した。
- ・別会計からの繰り入れに拠る24年度のみの本会計増加を除いても、例年続いていた、¥2~300万/年の赤字基調から、¥1~150万/年の黒字基調と成り、今後の健全な運営が期待できる。
- ・前年予算/実績に対して、今期予算がわかる様に併記した。
- ・予算項目も組み替え、24年度は、競技力向上に予算強化。日本スポーツマスターズ/ねんりんピック大会への補助を増加。全日本レディース個人戦に¥50万の補助。
- ・次年度から、事業計画と予算計画に拠る予算会議により、適正な予算立案を実施する予定。

6) 第6号議案 役員を選任時期を埼玉国体前に戻す提案について承認された。

- ・H16年埼玉国体の時に一度3年間任期を行い、周期がずれたままになっている。
- ・H25/H26/H27年の3年間任期を一度実施して元に戻し、上位団体の周期と一致させる。

7) 第7号議案 その他 支部からの提案は、無し。

4. 報告・連絡事項について

- 1) 競技委員会：臨時総会の際に検討依頼のあった数件について、検討結果の報告があった。
- 2) 審判委員会：審判研修会への申し込みは支部を通して行うこと。
 - ・会員番号、生年月日等の情報を正確に申請願う。
 - ・1級審判／マスタレフリー取得者のリストを資料に入れたので、講師依頼等に活用願う。
- 3) 技術等級委員会：技術レベル判定ドック（1・2級検定会）を、6／3日、12／8日の2回実施する。
- 4) 事務局より：
 - ・各支部の役員名簿の届け出を願う。（新年会の案内等に活用する。）
 - ・日連機関紙購読の申し込み募集
 - ・支部年会費未納の支部は、6月までに指定口座に振り込む事。
- 5) 小／中／高体連：主催／主管大会の実施予定と、協力の依頼が其々あった。
- 6) レディース連盟：24年度埼玉県開催の全国レディース大会個人戦への県連補助金に対する御礼と、大会成功への協力依頼があった

5. 役員選考委員会委員の選出について、以下の候補が選出され、委員として承認された。

東部：川野辺武、中村康雄 西部：堀口克己、松波均
南部：中村雅美、山下研二 北部：村田藤男、北正三

6. その他

- ・24年度より新規加盟支部となる、東松山市連盟の長谷部会長から挨拶があった。

--- 以上 ---